第7回　日本読書療法学会勉強会

「読書療法の限界を考える
～ディスレクシアについて」

ゲスト講師：南雲明彦氏

日本読書療法学会会長　寺田　真理子

2012年6月10日（日）　14：30～16：30

日本読書療法学会
The Japanese Bibliotherapy Association
La Asociación Japonesa de Biblioterapéutica

本日のスケジュール

14：30〜14：40　読書療法の限界について

14：40〜15：40　南雲明彦氏のご講義
（60分、質疑応答あり）
ディスレクシアとはどういうものなのか、
二次障害の話も含め、ご自身の体験から
お話いただきます。

15：40〜16：30　南雲明彦氏と寺田真理子との対談
（50分、質疑応答あり）
ディスレクシアへの読書療法の適用可能
性について対談形式で考えていきます。
ディスレクシアについての理解を深める
ための参考書籍もあわせてご紹介します。

読書療法の定義

- 方向性を持った読書を通じた、個人的な問題の解決への指導
  (Webster's New Collegiate Dictionary、1981)
- 文学を互いに共有することに基づく、ファシリテーターと参加者の間の相互作用を構造化する技法のひとつ
  (Berry、1978)
- 感情的な問題や精神の病を抱えた人の治療に文学や詩を用いること。読書療法は往々にして社会的な共同作業や集団療法に利用され、あらゆる年代に有効であると報告されている。入院患者、外来患者にも有効であるほか、個人的成長や自己啓発の手段として文学を共有したいと願う健康な人間にとっても有効である。
  (Barker's Dictionary of Social Work、1995)
- 人格的適応のうえで問題をもっている子どもに対して、適当な読み物を与えることによって、その問題を解決し、彼の適応を正常化するように導くガイダンスの一つの技術
  (『読書療法』、1966)

読書療法の適用の限界

- 読書それ自身の限界（読書が人間形成や性格形成において万能ではない）
- 被治療者の病状やその傾向、およびパーソナリティなどからの限界
- 治療者ービブリオセラピストの限界

（『読書療法』、1966）

読書療法の適用の限界

- 読書ができない者
- 人間の感情を受け入れることの困難な者
- 自己統制のできない者
- 過度の孤立化の傾向のある者

（『読書療法』、1966）

読書療法の適用の限界

- 読書ができない者
  読むということは、人間の視覚的なはたらきであるから、盲人や視力のきわめて弱い者など身体的な欠陥をもつ者や、読むことに耐えることのできない病人などには適用することはできない。また、字が読めても、読み物の内容を理解する能力―読解力の乏しいものには、実施できない。もちろん、文盲については論をまつまでもないことである。
  ←ディスレクシアは？

  このような読書ができないものに対して、読書療法がまったく不可能なのではない。たとえば、「お話」といった口調によって伝達する手段によって実施することができる。しかし、読書療法の本質は、やはり「読む」という基本的な性格を基礎としているから、これは応用形式と見なされる。
  ←電子書籍などのITツールの活用は？

  (『読書療法』、1966)

南雲明彦氏によるご講義

南雲明彦氏プロフィール

１９８４年11月２６日生まれ
新潟県湯沢町出身

２１歳になるまで「理解力はある程度あるが、読み書きがうまく出来ない」
という困難に苦しみ、引きこもりや自傷行為、強迫性障害による入退院を繰り返す。自身がＬＤ（学習障害）のディスレクシア(読み書き困難)であることを知り、ようやく自分の悩んできたものの原因がわかり、対処方法も明確になったことで生きやすくはなる。
しかし、社会での「ディスレクシア」の認知度はほとんどなく、「沢山の人にディスレクシアのことを知ってほしい」という想いから、啓発活動を始める。
講演活動を多い時には年１００回行い、埼玉新聞の連載を始めとして、徐々に新聞の取材を受けることになり、ＮＨＫ教育テレビへの出演も果たす。
現在は、川崎特区明蓬館高等学校で共育コーディネーターをする傍ら、株式会社システムブレーンの専属講師（２０１１年人気講師ランキング２位）として、啓発活動を地道に続けている。

オフィシャルサイト：http://nagumo-akihiko.com/

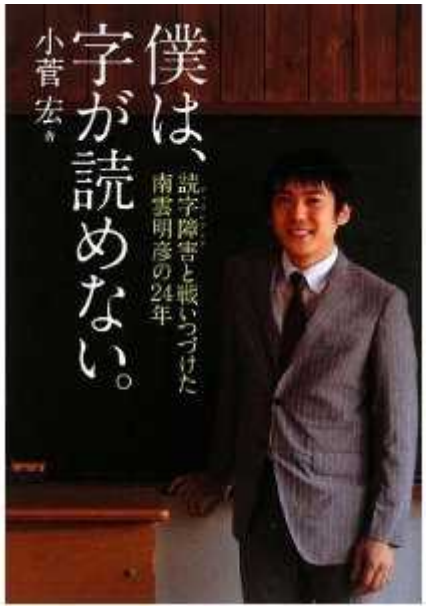
参考情報

- 公益財団法人　日本障害者リハビリテーション協会情報センター
（http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/glossary/Dyslexia.html）
一番、情報量が多く、的確であると思います。

- 『機関誌「LD研究」』（http://www.jald.or.jp/journal.html）
日本LD学会（http://www.jald.or.jp）が発行。ただし、「日本LD学会」という名前ではありますが、基本的に発達障害全般の研究になります。

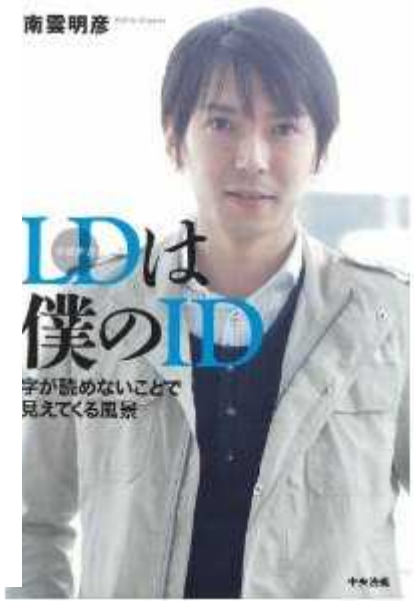
・国際ディスレクシア協会（http://www.interdys.org/）
英語のサイトになります。

参考書籍一覧


僕は、字が読めない。
読字障害と戦いつづけた南雲明彦の24年
小菅宏著

泣いて、笑って、母でよかった
読字障害・南雲明彦と母・信子の9200日
小菅宏
あちこたない！

断ちきれない絆
小菅宏
読字障害
南雲明彦発言集


南雲明彦
LDは僕のID
字が読めないことで見えてくる風景

参考書籍一覧

怠けてなんかない！
Dyslexia
ディスレクシア

怠けてなんかない！
2
セカンドシーズン
Dyslexia
ディスレクシア
あきらめない——
品川裕香

怠けてなんかない！
0
Dyslexia
ディスレクシア

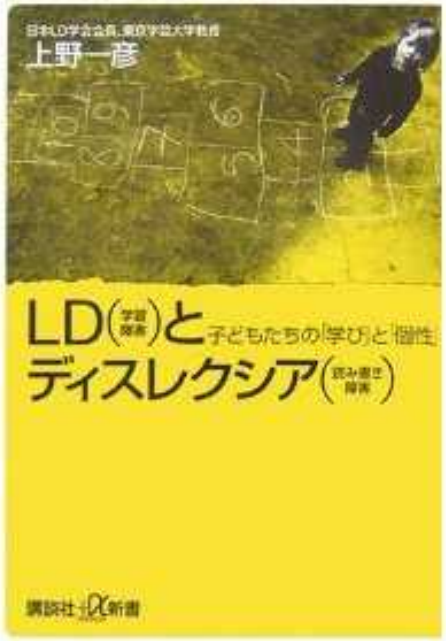
参考書籍一覧

読めなくても、
書けなくても、
勉強したい
ディスレクシアのオレなりの読み書き
井上 悟・貴子

「読む」「書く」は苦手だけれど
DX版
ディスレクシアな僕の人生
10人に

杉本亜未
3
ファンタジウム
Fantasium

参考書籍一覧


上野一彦
LD(学習障害)と子どもたちの「学び」と「個性」
ディスレクシア(読み書き障害)
講談社+α新書

ディスレクシア
読み書きのLD
マーガレット・J・スノウリング
東京書籍

読書は脳をどのように変えるのか?
プルーストとイカ

参考書籍一覧

脳を創る読書
なぜ「紙の本」が人にとって必要なのか
酒井邦嘉

1Q84
BOOK 1
〈4月−6月〉
前編
村上春樹
新潮文庫

ビブリア古書堂の事件手帖

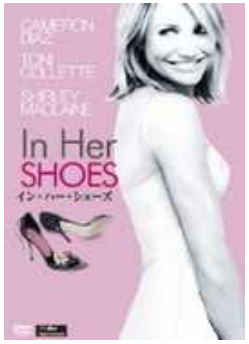
参考書籍一覧

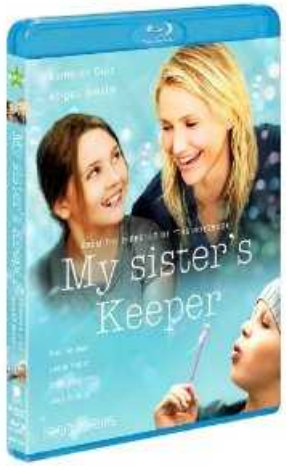
ありがとう、
フォルカー
せんせい

9番教室のなぞ

In Her
Shoes

わたしの
なかの
あなた


In Her
SHOES


My sister's
Keeper

ディスレクシアへの読書療法の適用

- 読書の真髄は、孤独のただなかにあっても
  コミュニケーションを実らせることのできる奇跡にあると思う。　（マルセル・プルースト）
  →ディスレクシアの二次障害を防ぐ手段として
  読書療法を活用するには？

- 同一視と投影、カタルシスと解除反応、洞察と統合は可能なのか？
  ……短期記憶の問題は影響しないのか？

- 読書によるモデリングは？

ディスレクシアへの読書療法の適用

- 音読の場合と文字による場合とで理解にどのような相違があるのか？

「一般に、ディスレクシア児は読みの優れた児童に比べて文字に触れる機会が制限されますが、バーンらの研究によると、文字に触れることが読み障害児の読みスキルに与える効果のほうが、文字音声化能力への介入効果よりも高くなっています」
(『ディスレクシア　読み書きのLD　親と専門家のためのガイド』、2008)

第8回　日本読書療法学会勉強会

2012年8月5日（日）14：00〜16：00

テーマ：日本における読書療法の普及のために
~イギリスの現状を参考に

会場は追ってご案内します

ご参加ありがとうございました！